

**徳島市都市計画マスタープラン策定 市民会議（第2回）**  
**議事録（要約）**

- と き** 令和3年10月5日（火） 午後1時30分～午後3時30分
- と ころ** 徳島市役所11階 1101会議室
- 議 事** (1) 徳島市都市計画マスタープラン策定市民会議設置要綱の改正について  
(2) アンケート調査の結果（速報版）について【市民・事業所・大学生】  
(3) 現行の都市計画マスタープランの進捗状況調査の結果について  
(4) 市民ワークショップ（地域別意見交換会）の開催について
- 出席者** ・委員14人（奥嶋会長、佐々木副会長、東委員、井上委員、岡山委員、小川委員、柏原委員、黒田委員、高源委員、島田委員、鈴江委員、瀬戸委員、滝本委員、辻岡委員）  
・事務局10人（企画政策部都市計画課）  
・傍聴2人

**1 アンケート調査の結果（速報版）について【市民・事業所・大学生】**

委員

これからの徳島市のまちづくりを考えていくにあたり、大学生の意見が非常に重要であると考えられる。大学生アンケートの結果だが、回収率が80%超えで実効性のある回答が得られていると判断できる。今後、徳島市に「住み続けたくないと思う」と回答した人が60%程度おり、徳島の魅力を向上していかなければ、若者が徳島に定住してくれないと思う。

また、公共交通に関する重要度について、どちらの意見を重視するか難しいところだが、市民の得点が低い一方で、大学生の得点が高くなっている。観光客は公共交通を期待していることから、関係人口・交流人口を増やしていくためには、公共交通が重要だと考えている。

会長

観光という産業を伸ばしていく上でも、公共交通は重要だと考えられる。他に何か。

委員

商業施設や工業施設が適当でない地域に立地していることなどが想定されるので、調査されると良いと思う。

会長

適正な立地状況になっているかを調べた上で、都市計画マスタープランに活かしていくべきだという意見であった。他に何か。

### 委員

防災まちづくりについて、「徳島市がハザードマップを作成していることは知っているが、見たことがない」と回答した人が23.7%もいることに不安を感じる。避難所に避難する際の危険性や、避難所に何分で行けるか、早く避難所に到着し安全性が保たれるかなど、実際に試したことがある人がどの程度いるかについても、アンケートで調査されても良いかと思う。

### 会長

防災に係る他のアンケート調査で把握されている可能性もあるかと思うが、事務局から何か。

### 事務局

担当課に確認する。

### 委員

洪水・高潮を含め、さまざまな種類のハザードマップが発行されているが、ハザードマップの見方がわからない人も多くいると思うので、実際に避難が必要な際に避難できるようにフォローしていくことも重要であると思う。

### 会長

地域ごとに避難の在り方などを検討していることもあるかと思うが、確かに、それを全体に行き渡らせることは難しいと思う。事務局から如何か。

### 事務局

市の広報紙において、例年6月頃から水防月間としてハザードマップの周知も含めて水災害への啓発を重点的に行っているところである。担当部局とも情報共有し、引き続き情報提供・発信に努力していく。

### 委員

まちづくりを進めていくにあたり、大規模なことを実施するとなると、予算規模も大きくなっていく。そのため、行政は重要度の高いことから順番に対応していくことが重要だと思う。

### 委員

防災について、学校単位での避難訓練は実施されているかと思うが、地域の防災訓練について、学生はあまり参加されていないように感じる。今後は、地域を巻き込んで防災訓

練を実施できると良いと思う。そのために若い人に向けては、広報紙などに加えホームページなどでの情報発信が重要だと思う。

また、県外から来た若者の意見を聞くと、駅前周辺が寂れているという意見をよく聞くため、中心市街地の活性化を進めていくことが重要だと思う。

#### 会長

情報発信については、SNS などの多様なメディアを活用して情報を発信していくことなどを、市において検討できれば良いと思う。他に何か。

#### 委員

渋滞が多く、駅前に駐車場も少ないので、なかなか行けない。その結果として、駅前のにぎわいが減り、店舗も閉店していく中で、公共交通機関を活用して駅前に人を誘導していくことが必要だと思う。また、以前はパークアンドライドなどの施策を積極的に行っていたので、そのような施策を積極的に実施していくことが重要だと思う。

#### 会長

市もさまざまな取組みを進めているが、公共交通については赤字が増加してきており、維持するだけで精一杯という難しい状況にある。

#### 委員

市内のバス路線をすべて乗車してみたが、バスでどこにでも行けることがわかった。「公共交通が不便だ」と言われているが、検索すればバスの経路もすぐにわかるので、簡易に検索ができることを周知すると良いと思う。

#### 会長

携帯電話の検索アプリもあり、バス停にもダウンロード用の二次元コードが貼られているが、自動車を利用する人が多いこともあり、普及するのが難しい状況にある。いろいろと工夫はされているが、市民全体に伝わりにくくなっている。

#### 委員

バスを利用しなくても問題ないようなまちづくりになっていると感じる。公共交通を充実するためには、バスに配慮したまちづくりを考えていく必要があると思う。

#### 会長

バスが中心部に集中しているため、中心部を活性化させないと、公共交通とまちづくりを連携していくことが難しいという意見であった。他に何か。

## 事務局

中心市街地の活性化と公共交通に関するご意見をたくさんいただいているが、公共交通は重要な都市機能であり、公共交通を充実することがより良いまちづくりにつながる。まちづくり・中心市街地の活性化と公共交通の充実は相互に関連している。

委員からご意見をいただいたとおり、市内にはバス路線が徳島駅を中心として放射状に配置されている。また、会長からご意見をいただいたとおり、バスでの経路を検索できるアプリ（とくしまバス Navi いまどこなん）を導入している。バス事業者及び関係機関と連携・協力して、その良さを周知・PRしていきたいと考えている。

## 委員

今後、高齢者が安全に歩いたり、自転車で通行できたりするスペースが一層必要になってくると思うが、その際に街路樹が伐採されてしまうことを懸念している。

街路樹により車道に日光が当たらないようにすると、車道のアスファルトの温度が相当下がると言われており、効果的である。今後、歩道や自転車道を整備する上で、都市景観や低炭素社会の実現のためにも、一部の街路樹は保全するような計画が必要だと思う。

## 会長

道路ごとに重視する点を検討していくことが重要だと思う。他に何か。

## 委員

公共交通を使って駅前に来てもらうことが理想であると思うが、目的となる場所がないと、なかなか駅前には人は来ないと思う。徳島駅から裏手の公園にすぐにたどり着けるような動線づくりなど、駅からの動線を含めた中心市街地のまちづくりを検討することが重要である。

また、市立図書館などの施設の駐車場について、一定の時間を超えると有料になるため、子育て世代の足が遠のくような状況にある。そのため、例えば、図書館を使用する際はバス料金を安くするなど、市役所内でも各担当課が連携して課題を解決していくと良いと思う。

## 会長

中心市街地からの各施設へのアクセスについての意見であったが、現在、鉄道高架事業があまり進捗していない状況なので、着手できるところから着手していくことも検討いただくと良いと思う。他に何か。

## 委員

鉄道高架事業の事業期間と、都市計画マスタープランの計画期間は異なると思うが、今回の都市計画マスタープランは鉄道高架事業を考慮するのか。

## 会長

都市計画マスタープランと比較すると、鉄道高架事業のほうが長い期間を要するものだと思う。一方、鉄道高架事業の方向性を検討しないと、中心市街地の計画が定め難いので、どのようにしていくか考える必要がある。事務局から何か。

## 事務局

徳島市都市計画マスタープランの計画期間は概ね10年間を想定しており、鉄道高架事業はより中長期的な期間を要すると考えている。徳島駅周辺まちづくり計画においても、鉄道高架事業を見据えながら駅周辺のまちづくりを進めていくこととしているので、それとの整合性も踏まえながら、委員の皆さまのご意見をいただきながら検討を進めていきたいと考えている。

## 会長

都市計画マスタープランは10年間の計画であるため、鉄道高架事業よりも短期的な視点であるとの話であった。

## **2 現行の都市計画マスタープランの進捗状況調査の結果について**

### 委員

市街化調整区域において一定数の住宅が新築されている状況で、それを急に抑制することは困難であると考えている。そのため、長期的な視点で、市街化調整区域における開発を抑制しながら、市街化調整区域内の人たちのための拠点を保持するよう、都市計画マスタープランに位置づけると良いかと思う。そのために、どのようにすれば市街化調整区域の分散的な開発を抑制できるかについて、分析を進めると良いと思う。

### 会長

長期的な視点で、市街化調整区域の開発を適正に抑制していくという意見であった。他に何か。

### 委員

農業について、休耕地の問題がある。市街化調整区域で、農地のままおいておくしかない土地がある。使い手がいない農地を、部分的にでも使いたい人に貸せるような事業ができれば良いと思うので、そのような視点のことを都市計画マスタープランに盛り込んでいただけると良いと思う。

事務局

各地の耕作放棄地を有効に活用していくことも土地利用において重要であると考えており、それも念頭に置きながら、都市計画マスタープランの中で土地利用方針を検討していきたい。

以上